

青字下線をクリックすると該当箇所にジャンプします。

0.基本操作	1.新設申込 (可否判定含む)	2.撤去申込	3.設備変更依頼内容確認	4.各種検索 (請求明細、申込状況等)	5.各種資料
<ul style="list-style-type: none"> ■ ログイン画面の表示 ■ ログイン方法 ■ ログイン時のトラブル対応 ■ 画面基本操作 ■ 手引きの見方 ■ 可否判定結果総括票確認 ■ 工事保守会社確認 ■ 一束化先共架者確認 ■ 工程進捗確認 ■ 契約数検索 ■ 契約明細検索 ■ 関連工事保守会社検索 ■ 請求明細検索 ■ 担当者情報検索 ■ 共架者情報確認 ■ 支払明細検索 ■ 可否判定回答後有効期限切れ ■ 工事保守会社選択 ■ 電柱標識／電柱番号選択 ■ ファイルアップロード 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 可否判定申込 ■ 可否判定結果受理 ■ 可否判定回答後有効期限切れ ■ 新設申込 ■ 土地権利者との調整結果報告 ■ 一束化先との協議結果報告 ■ 共架開始通知受理 ■ 概算見積り金額算定結果受領 ■ 工事費精算照会 ■ 竣工届作成・提出 ■ 検分結果確認 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 撤去竣工届作成・提出 ■ 検分結果確認 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社指示による設備変更依頼書受理 ■ 設備変更着工可能連絡受理 ■ 設備変更竣工届作成・提出 ■ 設備変更検分結果確認 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 契約数検索 ■ 契約明細検索 ■ 関連工事保守会社検索 ■ 請求明細検索 ■ 担当者情報検索 ■ 共架者情報確認 ■ 支払明細検索 	<ul style="list-style-type: none"> ■ システム入力における電柱番号の読み替え ■ 可否判定申込施設状況入力(入力項目の用語説明) ■ 可否判定、新設申込の考え方

 概要説明

各種資料について

- ここでは、システムに関する各種資料を記載する。
- 記載する内容は、以下のとおり。

記載内容	参照先
システム入力における電柱番号の読み替え	各種資料 [2/7]
可否判定申込施設状況入力（入力項目の用語説明）	各種資料 [5/7]
可否判定、新設申込の考え方	各種資料 [6/7]

◆ 番号札

東京電力パワーグリッド（東電PG）が所有する電柱には、電柱固有番号を示す「番号札」が取り付けられている。「番号札」の材料は基本的に垂鉛製であるが、特定のまとまった区域に建てられた電柱には、白色またはクリーム色のアクリル製の「番号札」が取り付けられていることもある。

◆ 電柱番号の読み方

図1の場合、電柱標識が「安松」、電柱番号が「404」のため、「安松404号」または「安松404」と呼称。

◆ 電柱所有者区分

図1では、上部にアクリル製でNTTのロゴが刻印された番号札、下部に金属製の番号札が取り付けられている。下部に取り付けられている番号札標示者が電柱所有者となる（建柱者番号札）。図1の場合は、下部に東電PG標示の番号札が取り付けられているため、東京電力パワーグリッドの所有電柱となる。

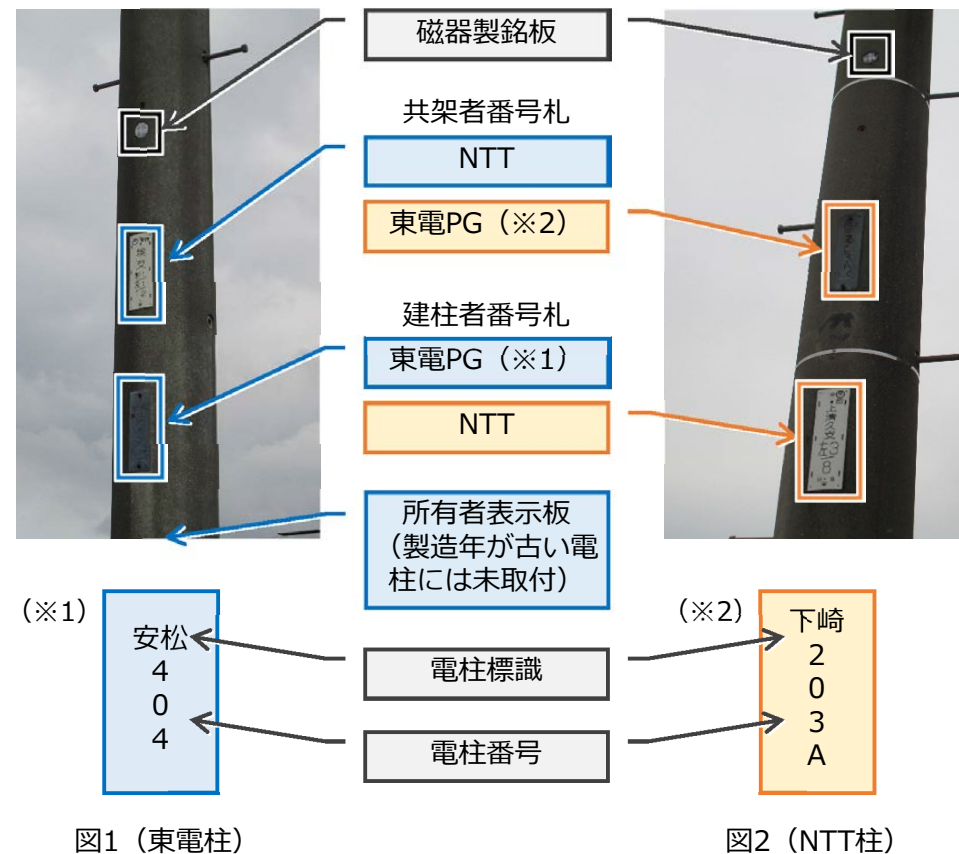
📌 メモ

- これは基本的なルールであるが、現地の取付け間違い等で例外の場合もある。

図2のように、下部にNTT標示の番号札が取り付けられている場合は、NTT所有電柱（NTT共架柱、またはNTT長尺柱と呼称）となる。NTT所有電柱の場合、東京電力パワーグリッドの共架者番号札には、末尾に「A」を付して所有区分を標示している。

⚠️ 注意

- これも基本的なルールであるが、末尾に「A」を付している場合でも、東京電力パワーグリッド所有電柱が存在するため、注意する。
- 下部に末尾「A」と標示している番号札が取り付けられている場合、東京電力パワーグリッド所有電柱の可能性がある。



◆ 電柱番号の読み替え手順

図1の「安松404号」を例とする。

- ① 現地の番号札から電柱番号を3桁として捉える。
「安松404」の場合は、そのまま「404」とする。
- ② 3桁に読み替えた番号の最後の桁（4桁目）に枝番号を付す。
「安松404」は東電PG所有電柱であるため、「①」で「404」とした電柱番号に東電PG所有電柱の枝番号「0」を付して「4040」とする（※1）。

📌 メモ

- （※1）枝番号について
4桁目に付する枝番号のルールは、以下のとおり。
 - ・ 東電PG所有電柱：0
 - ・ NTT所有電柱：A
 - ・ お客さま構内柱：B（Bを標準としているが、例外もある）
 地域によって枝番号の取り決めが異なる場合があり、例えばある一帯に建柱されている電柱に対して「A」や「B」または数字を付している場合もある。

電柱標識/電柱番号選択

戻る

東電PGエリアを変更する場合は、「基本情報登録画面」にて変更してください。
エリアを跨いでの申込はできません。エリアごとに申込を実施してください。

<抽出条件>

東電PGエリア* : 埼玉
都県 : 埼玉県
市区町村 :
事業所* : 所沢営業C
電柱標識(漢字) : 安松
電柱標識(コード) :
事業所絞り込み 標識検索

<電柱番号一覧>

<input type="radio"/> 3370 支線柱	<input type="radio"/> 3380 本柱	<input type="radio"/> 3390 本柱	<input type="radio"/> 3400 本柱
電柱番号 :3410 ~ 4380 を表示			
<input type="radio"/> 3410 本柱	<input type="radio"/> 3420 本柱	<input type="radio"/> 3430 本柱	<input type="radio"/> 3440 本柱
<input type="radio"/> 3450 本柱	<input type="radio"/> 3460 本柱	<input type="radio"/> 3470 本柱	<input type="radio"/> 3480 小柱
<input type="radio"/> 3480 本柱	<input type="radio"/> 3490 本柱	<input type="radio"/> 3500 本柱	<input type="radio"/> 3510 本柱
<input type="radio"/> 3520 本柱	<input type="radio"/> 3530 本柱	<input type="radio"/> 3540 本柱	<input type="radio"/> 3550 本柱
<input type="radio"/> 3560 本柱	<input type="radio"/> 3570 本柱	<input type="radio"/> 3580 本柱	<input type="radio"/> 3590 本柱
<input type="radio"/> 3600 本柱	<input type="radio"/> 3610 本柱	<input type="radio"/> 3620 本柱	<input type="radio"/> 3630 本柱
<input type="radio"/> 3640 本柱	<input type="radio"/> 3650 本柱	<input type="radio"/> 3660 本柱	<input type="radio"/> 3670 本柱
<input type="radio"/> 3680 本柱	<input type="radio"/> 3690 小柱	<input type="radio"/> 3690 本柱	<input type="radio"/> 3700 本柱
<input type="radio"/> 3710 本柱	<input type="radio"/> 3720 本柱	<input type="radio"/> 3720 支柱	<input type="radio"/> 3730 本柱
<input type="radio"/> 3740 本柱	<input type="radio"/> 3750 本柱	<input type="radio"/> 3760 本柱	<input type="radio"/> 3770 本柱
<input type="radio"/> 3780 本柱	<input type="radio"/> 3790 本柱	<input type="radio"/> 3790 支柱	<input type="radio"/> 3800 本柱
<input type="radio"/> 3800 支柱	<input type="radio"/> 3810 本柱	<input type="radio"/> 3820 本柱	<input type="radio"/> 3830 本柱
<input type="radio"/> 3840 本柱	<input type="radio"/> 3850 本柱	<input type="radio"/> 3860 本柱	<input type="radio"/> 3880 本柱
<input type="radio"/> 3900 本柱	<input type="radio"/> 3900 支柱	<input type="radio"/> 3910 本柱	<input type="radio"/> 3920 本柱
<input type="radio"/> 3930 本柱	<input type="radio"/> 3940 本柱	<input type="radio"/> 3960 本柱	<input type="radio"/> 3970 本柱
<input type="radio"/> 3980 本柱	<input type="radio"/> 4000 本柱	<input type="radio"/> 4010 本柱	<input type="radio"/> 4020 本柱
<input type="radio"/> 4030 本柱	<input checked="" type="radio"/> 4040 本柱	<input type="radio"/> 4050 本柱	<input type="radio"/> 4060 本柱
<input type="radio"/> 4070 本柱	<input type="radio"/> 4090 本柱	<input type="radio"/> 4100 本柱	<input type="radio"/> 4110 本柱
<input type="radio"/> 4120 本柱	<input type="radio"/> 4130 本柱	<input type="radio"/> 4150 本柱	<input type="radio"/> 4160 本柱
<input type="radio"/> 4170 本柱	<input type="radio"/> 4180 本柱	<input type="radio"/> 4210 本柱	<input type="radio"/> 4210 支柱
<input type="radio"/> 4220 本柱	<input type="radio"/> 4220 支柱	<input type="radio"/> 4230 本柱	<input type="radio"/> 4240 本柱
<input type="radio"/> 4250 本柱	<input type="radio"/> 4260 本柱	<input type="radio"/> 4270 本柱	<input type="radio"/> 4280 本柱
<input type="radio"/> 4290 本柱	<input type="radio"/> 4300 本柱	<input type="radio"/> 4310 本柱	<input type="radio"/> 4310 支柱
<input type="radio"/> 4320 本柱	<input type="radio"/> 4340 本柱	<input type="radio"/> 4350 本柱	<input type="radio"/> 4360 本柱
<input type="radio"/> 4370 本柱	<input type="radio"/> 4380 小柱	<input type="radio"/> 4380 本柱	<input type="radio"/> 4390 小柱
表示電柱番号 : 所沢営業C 安松			
0010~0870	0880~1700	1710~2550	
2560~3400	3410~4390	4390~5000	
電柱番号 :4390 ~ 5000 を表示			
<input type="radio"/> 4390 本柱	<input type="radio"/> 4390 支線柱	<input type="radio"/> 4400 小柱	<input type="radio"/> 4400 本柱
<input type="radio"/> 4410 本柱	<input type="radio"/> 4420 本柱	<input type="radio"/> 4430 本柱	<input type="radio"/> 4440 本柱

図3 「安松4040」を選択した状態（参考）

◆電柱区分

一見同じように見える電柱でも、その用途によって呼び方（呼称）が異なる。
代表的な電柱区分は以下のとおり。

電柱区分	説明
本柱	架空配電設備を構築する上で主となる電柱。 電力供給に必要な電線(本線)や変圧器等の機器類が設置されている。
支線柱	本柱に直接地支線を施設できない場合、本柱との間に水平支線を張るために使用する。 多くの場合この支線柱には、地支線が施設される。
支柱	電柱の設置場所の状況等により、地支線が施設できない場合に使用する。
H柱	単柱では十分な強度を得られない場合に使用する。 重量の大きい機器を施設する場合や、谷越え、川越え等で特に長径間となる場合など。
小柱	主に低圧引込線を張るために使用する。低圧引込線は本柱から架線される。 東京電力パワーグリッド所有の小柱には番号札は取り付けられていない。 小柱にNTT通信線（電話線）が共架されている場合、NTTの番号札が取り付けられている。 小柱に近似したものとしてNTT所有の単独柱（短尺柱）があるが、東京電力パワーグリッド所有の小柱には、磁器製銘板または銘柄表示に 6.9-8もしくは 6.9-25 の刻印があることを確認するようにする。 ただし、経年設備の場合は、磁器製銘板等を認識できなくなっているものがある。
PM小柱/LP小柱	地中線配電設備に付属する設備。 外見は小柱と同様ですが、地中線配電設備であるため、本柱からの低圧引込線の架線はなく、地中からのケーブル立上り管を通じて電力は供給されている。 この設備の場合は、共架総合管理システムから共架申込を行うことができない。 共架を希望する場合は、個別に協議となる。 (PM、LPとは、東京電力パワーグリッドの地中機器名の略称)

各種資料 [5/7] 可否判定申込施設状況入力（入力項目の用語説明）

可否判定申込施設状況入力

戻る ヘルプ

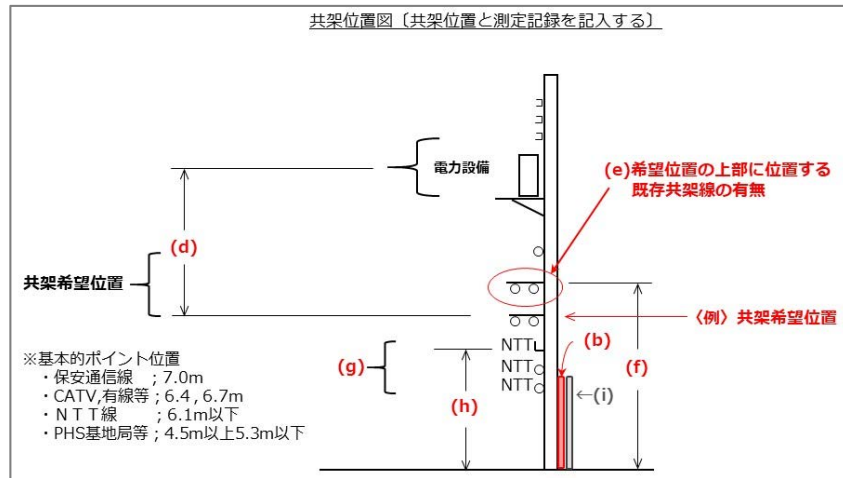
共架者名： 工程テスト用
可否判定申込番号： 190402005 可否判定受付日： 2019/04/04

<申込電柱・施設状況明細一覧>
可否判定申込電柱を表示しています。既存設備の有無、および、施設状況明細を入力してください。
1～7 件を表示（総件数： 7 件） 1/1 ページ

No	事業所	電柱標識	電柱番号	電柱区分	既存設備有無	地中立り申込有無	取付け高さ	取付方法	施設状況明細						
									腕金希望腕金	位置	電力設備離隔	通信線最上部高さ	NTT線最上部高さ	東電地中立り有無	
1	調布営業C	八雲	0860	本柱	無	無	6.4	新規腕金利用	共架D装柱	内	3.4	無	有	5.5	無
2	調布営業C	八雲	0840	本柱	無	無	6.4	新規腕金利用	共架D2装柱	内	3.4	無	有	5.5	無
3	調布営業C	八雲	0590	本柱	無	無	6.4	腕金変更希望	共架A装柱	内	3.4	無	有	5.5	無
4	調布営業C	八雲	0530	本柱	有	無	6.4	腕金変更希望	共架D2装柱	内	3.4	無	有	5.5	無
5	調布営業C	八雲	0850	本柱	無	無	6.4	新規腕金利用	共架D装柱	内	3.4	無	有	5.5	無
6	調布営業C	八雲	0820	本柱	無	無	6.4	新規腕金利用	共架F芯(O,9)装柱	内	3.4	無	有	5.5	無
7	調布営業C	八雲	0830	本柱	無	無	6.4	新規腕金利用	共架D装柱	内	3.4	無	有	5.5	無

(a) (b) (c) (d) (e) (f) (g) (h) (i)

一時保存 次へ 写真一括取込 参照...



(a) 既存設備有無

共架を希望する電柱における、自社*の既存共架線設備の有無。 | 自社* = 当該申込を行う共架事業者

(b) 地中立り申込有無

この申込における、共架事業者の地中ケーブル立上り施設希望の有無。

(c) 取付方法

- 既存腕金利用：取付済の共架腕金もしくは当該共架事業者の既設腕金を利用し、新規共架および増架等を行うこと。
- 新規腕金利用：現状共架腕金が設置されていない場合や、既存共架腕金のポイントに空きがない場合、この申込にて共架腕金の設置を希望し、新規共架を行うこと。
- 腕金変更希望：線路変更等に伴い、既設の共架腕金の種別を変更し移線（移架）を行うこと。
- 一束化希望：新規共架の際、他事業者のケーブルと一束化を行うこと。（増架の際は、既存腕金利用もしくは腕金変更希望を選択する）

(d) 電力設備離隔

共架を希望する電柱に施設されている東京電力パワーグリッドの電力設備（変圧器・電線等）の最下部と共架希望位置との離隔距離。

(e) 通信線最上部〔対象物有無〕

共架を希望する電柱における、共架希望位置の上部に位置する既存の共架電線類の有無。

(f) 通信線最上部〔高さ〕

共架を希望する電柱に施設されている共架電線類のうち、共架希望位置の上部に取り付けられている共架電線の地上高。
※ (e) が[無]の場合は、選択不要(空欄)

(g) NTT線最上部〔対象物有無〕

共架を希望する電柱の、NTT通信線の有無。

(h) NTT線最上部〔高さ〕

共架を希望する電柱に施設されているNTT通信線のうち、最上部に取り付けられている地上高。
※ (g) が[無]の場合は、選択不要(空欄)

(i) 東電地中立り有無

共架を希望する電柱に対する、東京電力パワーグリッドの電力線ならびに保安通信線のケーブル立上り施設の有無。

各種資料 [6/7] 可否判定、新設申込の考え方

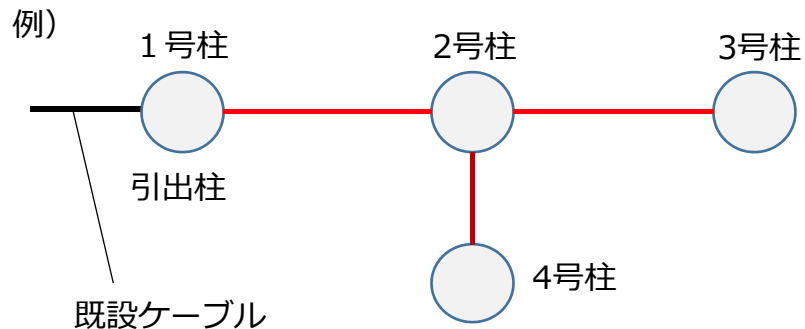
◆可否判定申込方法について

線設備⇒必要項目はすべてWeb入力となり、申込書、明細表、協議票は不要となる
 点設備⇒必要項目はWeb入力となるが、自主審査表の作成は必要（アップロード用）

◆可否判定申込情報の考え方（線設備）

①架線を行う径間の情報を入力

この情報をもとに、対象電柱明細が自動作成される。



1	第一電柱	東電	0010	本柱
	第二電柱	東電	0020	本柱
2	第一電柱	東電	0020	本柱
	第二電柱	東電	0030	本柱
3	第一電柱	東電	0020	本柱
	第二電柱	東電	0040	本柱



対象電柱明細

1	東電	0010
2	東電	0020
3	東電	0030
4	東電	0040

- 引出柱も可否判定申込が必要（共架契約約款35ページ）
- 隣接柱がNTT柱ならびに単独柱*の場合も情報入力が必要 *単独柱=自営柱等
- 1申込あたり100本（ポイント）まで可能。可否判定申込中の電柱を選択する場合は、特記事項にその旨を記載要。

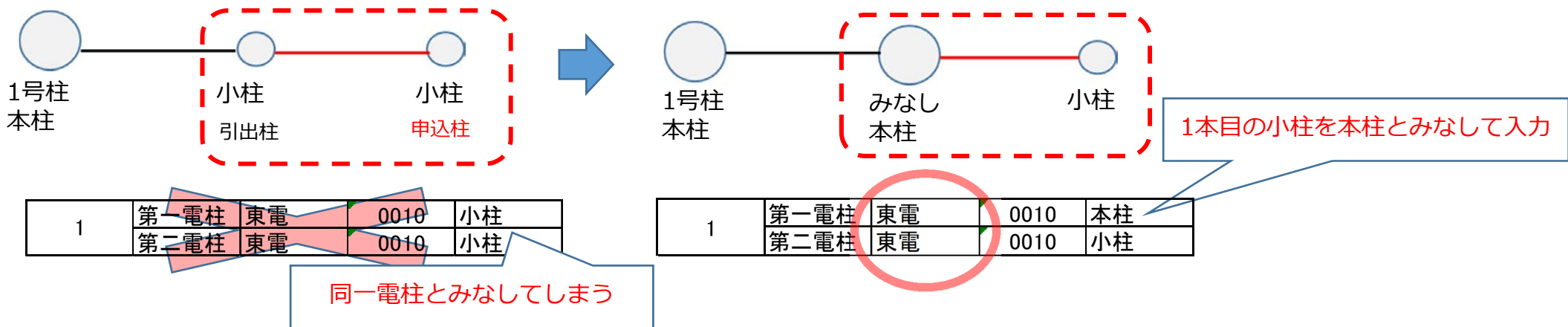
②施設するケーブル外径の総和に相当する線種を選択する

③電柱明細について、当該申込を行う共架事業者の既存設備有無を選択する

例) 増架の場合・・・「有」 新規の場合・・・「無」

▲留意点：小柱－小柱間の申込について

東電PGにおける設備管理上、小柱には固有の電柱番号が振られていないため、本システムにおいても正しい管理ができない状態。その対応策として、本柱－小柱間の架線とみなしたうえで、1径間ずつの申込が必要となる。



◆新設申込単位の考え方

①可否判定結果が「可」となった径間から、実際に共架工事を行う径間を選択する。

②可否判定結果の内容により、分割して申し込むことも可能。（申込ごとに共架開始通知を発行）

- 活用例） ・可否判定申込ルート上で東電PG設備の改修工事条件が発生し、その部分とそれ以外で施工時期を分割したいとき。
・広範囲で可否判定を申し込んだが、そのエリアによって着工時期がずれるとき。